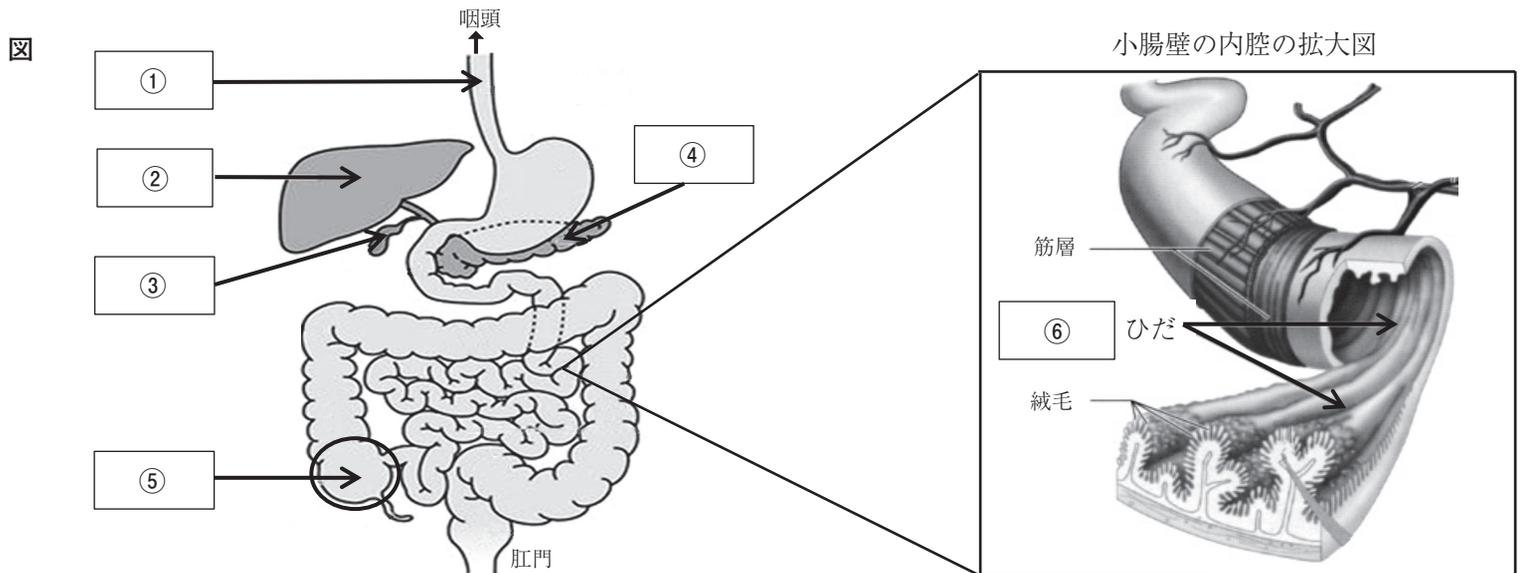


令3 養 護 (5枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 消化器系について、あとの問いに答えなさい。

1 次の図は、消化管とそれに付随する臓器の構造図及び小腸壁の内腔の拡大図です。下の①～④については、当てはまる臓器の名称を書きなさい。⑤については、○の部分の名称を書きなさい。⑥については、当てはまる語句を書きなさい。



2 次の文は、消化作用のしくみについて説明しています。文中 (①) ～ (⑧) に当てはまる語句を、あとの語群ア～ソから選んで符号を書きなさい。

口腔に入った食物は咀嚼によって噛み砕かれ、唾液と混ぜられて食塊となり、咽頭に飲み下される。これを (①) という。食塊は胃へ送られ、そこで半流動性の粥状になった食物は、幽門を通過して (②) へ送られる。さらに、小腸に送られた粥状の食物は、筋層の収縮による (③) 運動、(④) 運動、(⑤) 運動によって、消化液とよく混和され、消化が完全に行われる。消化されなかった残渣は大腸へ送られ、下方へ送られる間に (⑥) を吸収されて糞塊となる。糞塊は (⑦) に溜まるが、(⑧) に達すると便意が起こる。

語群	ア 振り子	イ 回転	ウ 蠕動	エ 震動	オ 嚥下
	カ 分節	キ 小節	ク 十二指腸	ケ 直腸	コ S状結腸
	サ 上行結腸	シ 横行結腸	ス 水分	セ 糖質	ソ 脂質

3 児童生徒等にも起こり得る消化器系疾患について、次の文中 (①) ～ (⑥) に当てはまる語句を書きなさい。なお、(③) と (⑥) については、日本語表記で書きなさい。

- (1) 虫垂炎では、臍と右上前腸骨棘を結ぶ線の外側3分の1から中央の部位に圧痛があるのが特徴的で、この部位を (①) 圧痛点という。また、腹壁を指で静かに圧迫して急に離すと、圧迫していた時よりも手を離れた時に激しい痛みを感じることを (②) 徴候という。
- (2) 腸管機能の亢進した病態に基づき、腹痛、腹部膨満感及び便秘異常が持続し、種々の腹部の不定愁訴を訴えるが、器質的病変が証明されないものを (③) 症候群という。
- (3) 感染性胃腸炎は、嘔吐と下痢が突然始まるのが特徴の疾患である。主となる病原体は、冬から春に多くみられ、ワクチンがある (④) ウイルス、秋から冬に多くみられ、ワクチンのない (⑤) ウイルスの他、アデノウイルス、細菌、寄生虫などである。
- (4) ベロ毒素を産生する O-157、O-26、O-111 などの大腸菌が原因となる腸管出血性大腸菌感染症は、脳症や (⑥) 症候群などの合併症を併発すると、時には死に至ることもある。

II 学校における児童生徒等の定期健康診断について、あとの問いに答えなさい。

1 学校保健安全法施行規則第五条に定める健康診断の時期について、次の文中 (①) ～ (③) に当てはまる語句を書きなさい。ただし、同じ番号には、同じ語句が入ります。

法第十三条第一項の健康診断は、毎学年、(①) までに行うものとする。ただし、(②) その他やむを得ない (③) によって当該期日までに健康診断を受けることのできなかった者に対しては、その (③) のなくなった後すみやかに健康診断を行うものとする。

2 「児童生徒等の健康診断マニュアル (平成27年度改訂)」に示された「児童生徒健康診断票 (歯・口腔)」の記入上の注意と歯式について、次の文のうち、記述内容が誤っているものをア～オからすべて選んで符号で書きなさい。

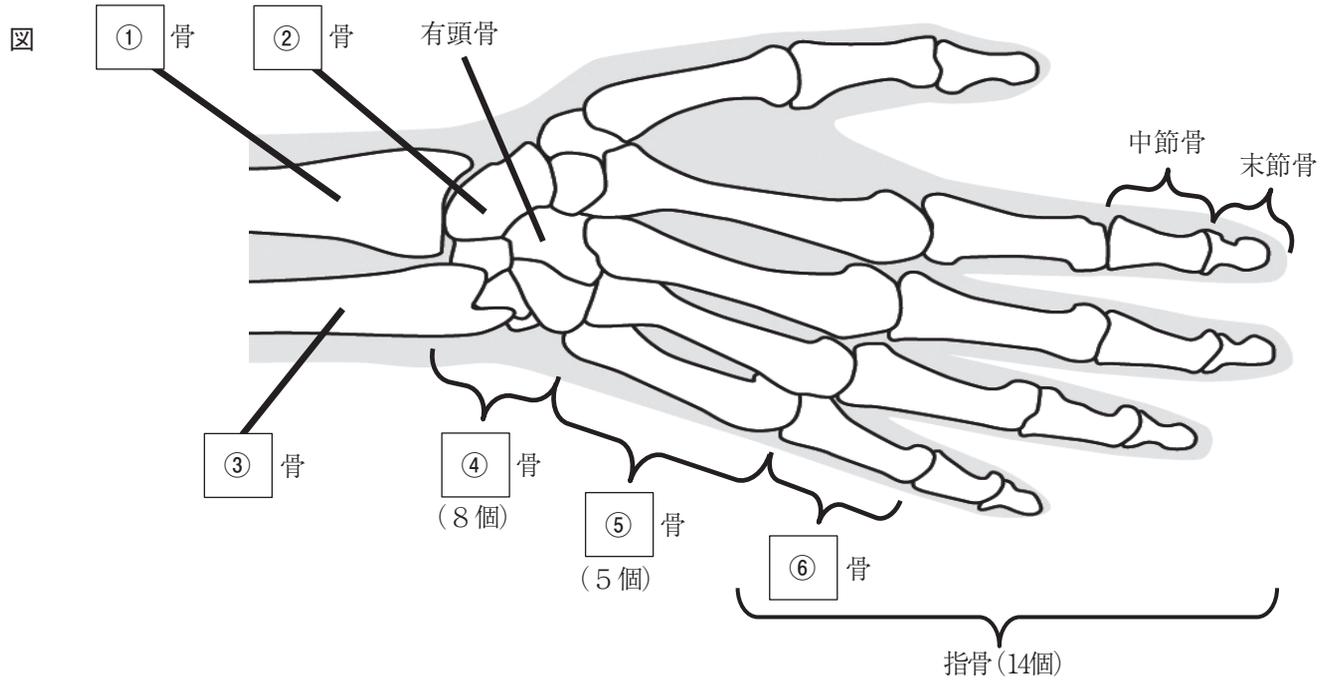
- | | |
|---|---|
| ア | 永久歯及び乳歯の現在歯について、現在萌出している歯は、斜線または連続横線で消す。 |
| イ | 永久歯及び乳歯のむし歯について、現在治療中の歯は「C」としない。 |
| ウ | 喪失歯「△」は、むし歯が原因で喪失した永久歯のことであり、乳歯には用いない。 |
| エ | 乳歯のサホライド塗布歯は、要観察歯「CO」に準ずるが、治療の必要な場合は「C」とする。 |
| オ | 永久歯及び乳歯のシーラント処置歯は、健全歯として扱わない。 |

令3 養護 (5枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

Ⅲ 手の骨について、次の問いに答えなさい。

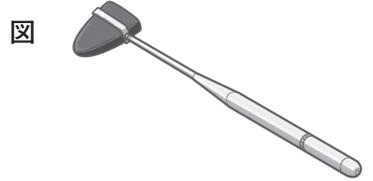
1 次の図は、右手背側面の構造図です。各部の名称について、下の①～⑥にあてはまる語句を書きなさい。



2 次の文は、手の平をついて転んだ時に、手首に強い痛みがあり、横から見るとフォークを伏せて置いたような変形が見られる生徒に対して養護教諭が行った処置と保健指導について、時系列で書かれたものです。

・問診と A 必要な検診 を行い、生徒自身に両手を見させて、損傷した部位（患部）と程度を確認させる。
 ・ただちに患部を使うのをやめさせて ①（ア 保冷剤で患部 イ 冷湿布で手全体 ウ 氷嚢または氷水で前腕）を冷やす。
 ・その場で休ませる時は ②（ア 手を心臓より高く イ 手を心臓より低く）する。
 ・変形部位は ③（ア そのままにする イ 正常な位置に戻す）。
 ・副子は ④（ア 指先から手の平 イ 指先から手首 ウ 指先から肘 エ 手首から肘）まで当てて固定する。
 ・固定で痛みが緩和した後、⑤（ア 再び痛むようであれば受診するよう指導する イ ただちに医療機関受診の準備を行う）。

- (1) 文中の下線部Aのうち、患部の運動検査で確認することを2つ書きなさい。
- (2) 右の図の器具を使ったり、指ではじいたりして、骨や関節の患部から少し離れた部位に軽い圧迫や衝撃を加えた時、患部に伝わる疼痛の名称を書きなさい。また、右の図の器具の名称を日本語で書きなさい。
- (3) 文中①～⑤について、正しい処置と指導になるように（ ）の中からそれぞれ1つずつ選び、その符号を書きなさい。



Ⅳ 教室等の環境に係る学校環境衛生基準（平成30年4月1日施行）のうち、換気及び保温等（ただし、揮発性有機化合物を除く）について、下の表の（①）～（⑨）に当てはまる語句や数字を書きなさい。ただし、同じ番号には、同じ語句が入ります。

換気及び保温等	換気	換気の基準として、二酸化炭素は、（③）ppm以下であることが望ましい。
	温度	（④）℃以上、（⑤）℃以下であることが望ましい。
	相対湿度	（⑥）%以上、（⑦）%以下であることが望ましい。
	浮遊粉じん	（⑧）mg/m ³ 以下であること。
	（①）	0.5 m / 秒以下であることが望ましい。
	一酸化炭素	（⑨）ppm以下であること。
	二酸化窒素	0.06ppm以下であることが望ましい。
	ダニ又はダニ（②）	100匹/m ³ 以下又はこれと同等の（②）量以下であること。

令3 養護 解答用紙 (5枚のうち4)

総計		

I	1	①		②		③	
		④		⑤		⑥	
	2	①		②		③	
		④		⑤		⑥	
		⑦		⑧			
	3	①		②			
		③		④			
		⑤		⑥			

I		

II	1	①		②		③	
	2						

II		

III	1	①		②		③		
		④		⑤		⑥		
	2	(1)						
		(2)	疼痛の名称					
			器具の名称					
	(3)	①		②		③		
		④		⑤				

III		

令3 養護 解答用紙 (5枚のうち5)

IV	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
	⑦		⑧		⑨	

IV		

V	1	①		②		③	
		④		⑤		⑥	
		⑦		⑧		⑨	
		⑩		⑪			
	2	(1)	感染症名		出席停止期間の基準		
		(2)					
		(3)					
		(4)					
		(4)					

V		

VI	①		②		③	
	④		⑤		⑥	
	⑦		⑧		⑨	
	⑩		⑪		⑫	
	⑬		⑭			

VI		

総計		
200点		

令3 養護 模範解答

I	1	①	食道	②	肝臓	③	胆嚢
		④	膵臓	⑤	盲腸	⑥	輪状
	2	①	オ	②	ク	③	ウ
		④	ア	⑤	カ	⑥	ス
		⑦	コ	⑧	ケ		
	3	①	マックバーナー		②	ブルンベルグ	
		③	過敏性腸		④	ロタ	
		⑤	ノロ		⑥	溶血性尿毒症	

I		
46点		

II	1	①	六月三十日	②	疾病	③	事由
	2	イ オ					

II		
9点		

III	1	①	橈	②	舟状	③	尺	
		④	手根	⑤	中手	⑥	基節	
	2	(1)	自動運動			他動運動		
		(2)	疼痛の名称		介達痛			
			器具の名称		打腱器			
		(3)	①	ウ	②	ア	③	ア
	④		ウ	⑤	イ			

III		
40点		

令 3 養護 模範解答

IV	①	気流	②	アレルギー	③	1500
	④	17	⑤	28	⑥	30
	⑦	80	⑧	0.10	⑨	10

IV 18点		

V	1	①	校長	②	疑い	③	設置者
		④	休業	⑤	結膜炎	⑥	膿痂疹
		⑦	寄生虫	⑧	風水害	⑨	結核
		⑩	学校医	⑪	消毒		
	2	/	感染症名		出席停止期間の基準		
		(1)	水痘		カ		
		(2)	手足口病		オ		
		(3)	風疹		エ		
		(4)	麻疹		ア		

V 45点		

VI	①	大動脈	②	肺動脈	③	死戦期
	④	食物負荷	⑤	熱疲労	⑥	熱射病
	⑦	性腺刺激	⑧	妊娠	⑨	学校保健計画
	⑩	地域	⑪	紫外線	⑫	光化学スモッグ
	⑬	学校安全計画	⑭	対処要領		

VI 42点		